2025 年度消費者月間講演会開催

「クリック一つで人生が変わる？ネット広告の光と影」

６月７日（土）、消費者ネットおかやまと岡山県消費者団体連絡協議会共催、岡山県の後援で２０２５年度消費者月間講演会が岡山国際交流センターとオンライン配信にて開催され、６３人が参加しました。

▲龍田氏

岡山県消団連の近藤幸夫代表幹事の開会挨拶の後、岡山県消費生活センター所長龍田裕典さんから、令和６年度の相談状況の報告があり、相談件数全体は前年比で微増に留まっているものの、暗号資産や投資案件、ロマンス詐欺などの被害金額は急増している実態や美容医療などでのトラブル事例、被害に会わないための注意点などが報告されました。

▲笠井氏

メイン講演では、日本アフィリエイト協議会代表理事の笠井北斗氏より、ネット広告は本来ほしい人にほしい情報が届く、社会をよくするものであるはずが、さまざまな手口で悪用されている実態が実例も含め説明されました。

特に SNS からの誘導や AI による悪質な広告画面（ダークパターン）作成など、より巧妙な手口が開発され、だまされやすい人ほど攻撃が集中していくことにつながっていると指摘しました。一方、この学習会をしたことの発信、行政からの注意喚起などを積極的に発信することは、AI に「岡山はターゲティング広告の対象からは外そう」と思わせることにつながる、という処方箋も提示されました。

≪パネルトーク～ネット広告を読み解く力とは？･･･消費者目線でチェックする≫

講演での学びを深めるため、第２部としてパネルトークを実施しました。進行役を消費者ネット検討委員の片岡靖隆弁護士、パネラーとして講師の笠井氏に、現役消費生活相談員、ノートルダム清心女子大学の学生と先生を招き、消費生活センターでの相談の実態からの意見や学生のネット事情、大学での消費者教育などについて意見を交わしました。ノートルダム清心女子大の学生は、昨年度消費者ネットおかやまの「ネット広告パトロール」活動に参加しており、そこでの取り組みや若年層啓発の案などの紹介もありました。

アンケートでは、講演、パネルトークとも高評価をいただき、ネット広告の良さも知ることができたこと、だまされない対策を学べたこと、若い世代のパネルトークがよかった、などの感想をいただきました。